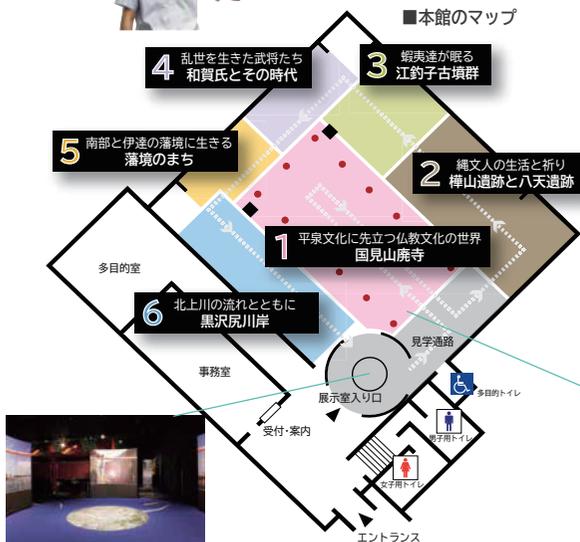


## 展示内容をご案内します!



展示室入り口。足元の航空写真では各テーマの舞台(場所)が分かります

### 六つのテーマに絞って展示

開館当時の本館は年代ごとに歴史の資料を展示していましたが、リニューアル後は市の歴史を象徴する六つのテーマに分けて紹介しています。

#### イチ押しテーマは国見山廃寺

平安時代には北東北最大規模の寺院「国見山廃寺」があったことをご存じですか?これは稲瀬町の国見山(標高約250m)南麓にあった山岳寺院で、発掘調査を中心に研究が進んでいます。謎に包まれた歴史の全貌に迫っていますので、ぜひご覧ください。



国見山廃寺の復元模型



## 博物館でディスカバリー — 祝!開館50周年 見て感じるまちの歴史 —



龍主さまと小龍主くん (博物館のキャラクター)

北上市立博物館は開館50周年を迎えました。この機会に、北上の歴史に触れながら新たな発見のひとつを過ごしませんか?

見て、感じて、楽しみながらまちの歴史を学べる博物館に、皆さんぜひ足をお運びください!

### 郷土の自然や総合的な歴史を知りたい人は和賀分館へ



リニューアル前まで本館に展示していた動物のはく製や昆虫の標本は、和賀庁舎1階の和賀分館に移設し、展示しています。

分館では、生物資料をはじめ、和賀地方の鉱物・鉱山資料などを展示するほか、まちの総合的な歴史の変遷を知ることができます。

#### 博物館インフォメーション

本館(立花14-59 ☎64-1756)  
■開館時間…9時~17時(入館は16時30分まで)  
和賀分館(和賀町横川目11-160)  
■開館時間…10時~16時(入館は15時30分まで)  
※休館日や観覧料の詳細は本号23ページ「Museum通信」をご覧ください。



高橋 真子さん 恵将さん (28歳・盛岡市、28歳・仙台市)

展勝地の辺りをドライブしていて、「博物館にも行ってみよう」と思い、初めて入りました。私たちは博物館が好きでいろいろな所に行きます。そのまちを知っているつもりでも、博物館に来て初めて分かることがあり、面白いからです。北上市の博物館では、特に土器のコーナーが面白かったです。このような遺物が北上で出土されたということを知り、興味深いと感じました。



佐々木 征子 さん (80歳・盛岡市)

約30年ぶりに来館しました。リニューアル後は初めてで、テーマごとに紹介しており、見やすいと感じました。現在行っている企画展「昭和のくらし」がとても面白かったです。私が子どもの頃に使っていた道具を見て、懐かしく感じ、思い出にふけりました。クイズもあり、子どもも大人も楽しめますね。博物館には地域の人や子どもたちなど、たくさんの人に来てほしいですね。

来館した皆さんに  
感想を伺いました!

#### ■博物館50年間の歩み

年	内容
昭和48 (1973) 年	・岩手県内陸部初の総合博物館として立花に開館 ・博物館のテーマは「北上川流域の自然と文化」
平成4 (1992) 年	・東北有数の野外博物館としてみちのく民俗村開村
平成11 (1999) 年	・入館者100万人達成
平成28 (2016) 年	・国見山廃寺をはじめとする北上の歴史的特徴に焦点を当て、リニューアルオープン ・和賀町横川目に和賀分館を新設
令和5 (2023) 年	・本館入館者150万人達成 ・開館50周年を迎える

■問い合わせ：市立博物館  
☎019771641756

市立博物館は、昭和48年4月に岩手県内陸部初の総合博物館として開館しました。平成28年のリニューアル後、本館では、多岐にわたる分野の中でも北上の歴史に特化して展示。また、同年に新設した和賀分館では、先人たちの顕彰するコーナーのほか、豊かな北上の自然や郷土の生い立ちを学べるよう内容を充実させています。本館ではこれまでのさまざまな活動を紹介するほか、子どもから大人まで幅広い世代が学べる博物館の魅力を紹介します。

#### — 私たち職員が博物館の魅力をご紹介します! —



阿部友実 専任研究員  
地域や時期ごとに異なる多種多様な形状・装飾の縄文土器は魅力的ですよ!



相原彩子 主任学芸員  
人々の心よりどころだった仏像から、当時の暮らしや願いを想像してみてください!



渋谷洋祐 館長  
先人の力強さやたくましさを感じられる舟道具をぜひご覧ください!

## 開館50周年記念事業

博物館が郷土の魅力を探り、発信する場であることを市民の皆さんと改めて共有し、さらに親しまれる施設を目指し、新たな一歩を踏み出します。

### 特別展 MEMORIES

#### ～記録と記憶の北上市～

開館以降50年間の当館と本市の歩みを観光や交通などのテーマで振り返り、市の発展過程やまち並みの変遷を探ります。

■とき…10月21日(土)12時～12月24日(日)  
■ところ…博物館本館



昭和50年代の展勝地

### 記念シンポジウム

#### 国見山廃寺から平泉へ

～歴史をひもとく博物館の役割～

国見山廃寺から平泉へ、仏教文化を担った遺跡と遺物が示すストーリーを探ることで、これからの博物館の可能性を考えます。

■とき…10月21日(土)13時30分～15時30分

■ところ…展勝地レストハウス



多重塔跡

※両イベントの詳細は本号23ページ「Museum通信」をご覧ください。  
※10月21日(土)は午前休館とし、12時から開館します。

※10月21日(土)・22日(日)に開催するみちのく民俗村まつりに合わせ、両日は博物館本館の観覧料が無料です。



### 博物館の魅力★

## 子どもも大人も参加!楽しい学習会



平成8年の歴史探訪会  
「南部氏の居城めぐり2」



分かりやすい  
解説は必聴!  
一緒に学びに  
行きましょう!

### こんな活動をしてきました!

#### 自然探索会

身近でも個人では行きにくい場所を探索できる自然探索会では、市内各地の山岳や溪流などを巡り、自然と地域の関係などを学んできました。平成13年の初開催以来、40力以上の探索地を訪れ、参加者は郷土の自然を体感してきました。



平成27年の自然探索会  
「口内の麓山と金峰山巡り」

### 博物館の魅力★

## 理解が深まる解説!

多くの人に理解を深めていただくため、来館前に予約すると、職員の解説付きで見学できるサービスを提供しています。解説は、個人でも団体でも、見学時間に合わせて案内可能です。



今年も解説付きの見学を行い、来館者の皆さんは理解を深めていました

### こんな活動をしてきました!

## 6倍楽しめる 常設展示解説会

常設展示の六つのテーマのうち、一つ一つのテーマについてじっくり時間をかけて解説を聞きたい人は、常設展示解説会「博物館を6倍楽しむ方法」にご参加ください!各テーマの専門家が、展示の狙いや各時代背景などを詳しく解説します。



平成29年の解説会  
「博物館を6倍楽しむ方法」

本年度は1月21日～2月25日の日曜日に開催予定です(全6回)。ぜひご参加ください!



## 博物館の役割や魅力、50年間の活動をご紹介します!



### 博物館の重要な役割★

## 豊富な調査研究活動

博物館には歴史や自然に詳しい学芸員や研究員が在籍し、日頃から調査研究活動を行っています。その成果は、企画展や特別展、研究報告書で目にすることができます。



昔の書籍には何が書かれているかな?

図書は受付で販売していますよ!

### こんな活動をしてきました!

## 研究成果をまとめた図書を発行

北上川流域の生き物や植物、歴史や人々の営みをテーマにした「北上川流域の自然と文化シリーズ」は、この50年間で31冊発行しました。ほかにも、企画展・特別展の展示解説図録を多数発行しています。



### 博物館の魅力★

## 多彩な企画展・特別展

あるテーマに沿って資料を紹介する企画展・特別展。今年、本館ではまちの歴史や昔の暮らしに関する企画展を、和賀分館では鳥や昆虫、和賀町の歴史に関する展示を開催しています。



和賀分館企画展「美しい昆虫たち」  
(10月1日まで開催中)



本館企画展「昭和のくらし」  
(10月1日まで開催中)

### こんな活動をしてきました!

## 食べられるか?毒か?きのこ展

開館から平成26年まで開催し、秋の恒例企画展だったきのこ展。実物のきのこを展示するほか、「食べられるか、毒きのこか?」が判明する企画も行われ、山や林できのこを採取する人に人気のイベントでした(現在は開催していません)。



平成8年のきのこ展



多くの市民が  
参加しました!

### 博物館の重要な役割★

## 資料の所蔵数は47,000点以上!

実は展示物のほかにも、たくさんの資料を収蔵庫で保管しています。常設展示や企画展などでは、その中から厳選して公開しています。資料の多くは、市民が長い間大切にしてきた物。長く後世に残して伝えるため、適切な環境で保管しています。



収蔵庫には、古い生活道具や古文書、昆虫標本などが収められています

収集した市のお宝がぎっしりと保管されています!

### こんな活動をしてきました!

## 人気!消防ポンプ自動車の展示

幅広い年齢層に大人気の所蔵資料「消防ポンプ自動車」は、現在みちのく民俗村内の消防資料館で展示しています。

昭和25年に黒沢尻町が購入したもので、当時は最新のポンプ自動車でした。

